

2024年11月5日

九州工業大学とネジチョコのコラボ商品を開発しました

宇宙をもっと身近に！北九州の新たな土産に

「ネジチョコロケット&超小型人工衛星型チョコレートセット」

ー2024年11月11日（月）より、オンラインにて発売開始ー



国立大学法人九州工業大学（福岡県北九州市、学長 三谷康範）は、北九州土産として話題の「ネジチョコ」を製造・販売しているオーエーセンター株式会社（福岡県北九州市、代表取締役社長 吉武太志）と共同で、コラボレーション商品「ネジチョコロケット&超小型人工衛星型チョコレートセット」を開発しました。

この商品の開発は、本学工学府 博士前期課程 工学専攻 宇宙システム工学コース1年の畠山雄樹さんが発起人となり実現しました。組み立てができるロケット型のチョコレートとパッケージのデザインにもなっている超小型人工衛星を模したチョコレートがセットになっています。2024年11月11日（月）より、オンライン等にて発売を開始します。

是非、広く「ネジチョコロケット&超小型人工衛星型チョコレートセット」ご周知くださいますようお願いいたします。

■ 「ネジチョコロケット&超小型人工衛星型チョコレートセット」について

商品名：	ネジチョコロケット&超小型人工衛星型チョコレートセット
製品コンセプト：	組み立てられるロケット、人工衛星チョコート
価格：	税別 1000 円
内容量：	8 つ (ホワイトチョコ 6 つ、スイートチョコ 2 つ)
発売日：	2024 年 11 月 11 日 (月)
発売場所：	【ネット販売】 オンラインショップ (NEJI CHOCO LABORATORY) https://grandazur.buyshop.jp 【店舗販売】 GRAN DA ZUR (福岡県北九州市小倉南区葛原 1 丁目 12-23) その他、九州工業大学生協同組合などの店舗で順次販売予定。
特徴	 <ol style="list-style-type: none">1. ネジチョコ x 九州工業大学のコラボレーション 超小型人工衛星の打ち上げ数で世界一の実績を誇る九州工業大学と北九州名物「ネジチョコ」のコラボレーションにより、宇宙を身近に感じながら食べることができるお土産ができました。2. 組み立てられるチョコレート 本商品は、実際に手を動かしてロケットを組み立てることができるチョコレートです。プラモデルのように、ワクワクしながら組み立てる体験ができ、子供だけでなく大人も楽しむことができます。3. 科学への興味を促す知育菓子 組み立てながら科学や宇宙に興味を持つきっかけとなる知育菓子として、子供の学びのツールにもなる商品です。宇宙を身近に感じ、未来の技術者たちの夢を育むきっかけを提供します。親子で楽しめるお土産として、お土産売り場や宇宙関連施設での販売を予定しています。

■ネジチョコとは？

2015年7月に北九州市内にある官営八幡製鉄所の関連施設が世界遺産に登録されたことを記念し、鉄の町・北九州オリジナルの手土産として商品化いたしました。CADを使って設計し、3Dプリンターで制作した型によって、ものづくりの基本でもある「ネジ」と「ナット」の形状を持ち、実際にネジが回せるチョコが完成しました。ねじが回せて楽しめることに加え、カカオ50%以上の「クーベルチュール」を使用するなど、味にもこだわったことで、SNSでも話題になっています。



■発起人の畠山雄樹さんのコメント

九工大は超小型人工衛星打ち上げ数7年連続世界1位という実績もあるからこそ、北九州のお土産である魅力的なネジチョコとコラボすることで、少しでも九工大の知名度が上がって欲しいなと思っています。また、それと同時に北九州市=宇宙の街というイメージが全国的世界的に広がっていくきっかけになればいいなと思っています。

役 割	氏 名	所 属
発起人・プロデュース	畠山 雄樹	工学府 博士前期課程 工学専攻 宇宙システム工学コース1年
モデリング担当	巻淵 悠	工学府 博士前期課程 工学専攻 宇宙システム工学コース1年
モデリング担当	宮嶋 壯太	工学府 博士前期課程 工学専攻 宇宙システム工学コース1年

■国立大学法人九州工業大学について

国立大学法人九州工業大学は、1909年の私立明治専門学校の開学に始まり、「技術に堪能なる士君子」（単に技術に精通するだけでなく道義心のある人格者）の養成を基本理念に数多くの技術者を輩出してきました。福岡県内の3キャンパス（2学部、3大学院）で約5700名の学生が学んでおり、近年では宇宙開発（教育機関における人工衛星の運用数が7年連続世界一位）や、ロボティクス（自律型ロボットの世界大会で5回優勝）など幅広い分野で成果を残しています。

■国立大学法人九州工業大学の宇宙への取り組みについて

国立大学法人九州工業大学は、超小型人工衛星の開発において国際的に高い評価を受けており、7年連続（2024年時点）で衛星打ち上げ数世界一位を達成しています。この実績は、同大学の「超小型衛星試験センター」の充実した施設と先進的な試験設備に支えられています。

同センターでは、振動・衝撃試験、熱真空・熱サイクル試験など、衛星が宇宙環境下で起こりうる様々な可能性のある条件を再現し、試験を行うことが可能です。これにより、設計から製造、最終的な打ち上げ準備までを一貫して行うことができるため、効率的かつ継続的な衛星開発が可能にな

ります。また、これらの試験プロセスは、国内外の多くの企業や研究機関との協力によりさらに強化されています。このような体制が、高品質な衛星技術の確立と持続的な開発を実現、国内外の衛星開発や試験に貢献しています。

さらに、九州工業大学はハイブリッドロケットの燃焼試験施設などもキャンパス内に有しており、ロケットに関する研究も多数行っています。

■関連サイト

- ・九州工業大学が小型衛星分野で7年連続世界1位!

<https://www.kyutech.ac.jp/whats-new/topics/entry-10610.html>

- ・Youtube_九州工業大学「-北九州から宇宙へ挑む- 九工大の衛星開発」

<https://youtu.be/LSQmi5ODx-M>

- ・ネジチョコラボトリー

<https://nejichocolab.jp/>

取材については、九州工業大学経営戦略室が、日程・取材先等について調整いたしますので事前にご相談ください。

【お問い合わせ】

■報道について

国立大学法人九州工業大学 経営戦略室

電話：093-884-3007 Mail：pr-kouhou@jimu.kyutech.ac.jp